


業種	保険業
活用分野	情報サービス
テクノロジー	スマートフォン向けアプリ、GPS
端末	スマートフォン 

自転車の事故防止・安全利用へ 保険とともにスマホアプリを提供

PCやモバイル端末から手軽に申し込める直販型の保険サービスを提供するau損害保険では、各種の保険商品とともに、関連情報を幅広く提供する手段としてスマートフォン向けアプリの開発にも積極的に取り組んでいる。

その1つの例が、自転車事故重視の補償に加え自転車ロードサービス、示談代行も提供する自転車向け損害保険「ケガの保険 Bycle」と、通信キャリアを問わずiPhoneでもAndroid端末でも無料で使えるスマホアプリ「自転車の日」である。

多彩なメニューで情報提供 ロードサービス要請機能も付加

自転車向けのスマホアプリを開発したのは、保険の販売資格を持たないサイクルショップからの要望がきっかけだった。専務取締役の柳保幸氏は、「自転車保険をうまく紹介する方法はないかとの相談を受け、ならば保険のことだけでなく、自転車の利用シーンに合わせた多様な情報や便利機能も提供する仕組みを作ろうと考えたのです」と語る。

「自転車の日」では、誰でも使えるメニューのほか、保険契約者限定の機能が用意されている。

前者は①自転車運転に関する「ルールとマナー」、②万が一の盗難に備えて自転車の特徴や防犯登録番号・車体番号が登録できる「My自転車」、③GPSを使って近隣の自転車関連施設を検索できる「施設検索」、④盗難・

事故などの対応マニュアル「困ったとき!」、⑤自転車に関連する「ニュース&トピックス」、⑥自転車保険の情報提供に加えて通話料無料で電話相談もできる「保険のとびら」の6つ。

営業企画部 課長代理の今井康智氏は、「ルールとマナーについては、都道府県別の条例紹介やアニメ動画を用いた子供向けのマナー教室を制作するなど、理解を深めてもらうための工夫を凝らしました」と説明する。

後者の保険契約者限定機能では、契約内容照会に加えて、目玉の1つである「自転車ロードサービス」を要請できる機能を付加した。画面上で入力した被害状況とともにGPSによる位置情報も窓口に伝えられ、救援車両の到着予定時刻や位置も画面上で逐次確認できるのがポイントだ。

ルール・マナー解説を評価し 自治体や学校も普及に協力

「自転車の日」のダウンロード数は、2014年6月時点で23万超に達している。利用者の評価について今井氏は、「パンク時に対応マニュアルを見て修



au損害保険 専務取締役 柳保幸氏(写真左)、同営業企画部 課長代理 今井康智氏(右)

理したり、ロードサービスを要請して『助かった』という声が多く届いています」と話す。

「実は、ルールやマナーを詳しく紹介している点を全国各地の自治体や学校が評価し、アプリの普及に協力・応援をしてくれています」と柳氏は明かす。自転車の事故防止・安全利用という目的で自転車メーカーやショップとの距離感が縮まったことも大きな成果だという。

今後、ロードサービスにおける車椅子への対応、KDDIの小型GPS端末「あんしんGPS」と連動させた自転車盗難対策、他の保険やスマホアプリも含めた利用者IDの導入によるサービス向上など、メニューや機能の強化にも積極的に取り組むことで、100万ダウンロードの早期達成を目指している。

図「自転車の日」の各種機能



保険契約者は自転車ロードサービスを利用可能。現場からレスキューカーを依頼できる

近隣の自転車関連施設を検索

都道府県別のルールも紹介

トラブル発生時の対処法を紹介

Profile

au損害保険株式会社 http://au-sonpo.co.jp/	所在地 東京都渋谷区東3-16-3 エフ・ニッセイ恵比寿ビル5F	事業内容 損害保険業
	設立 2010年2月23日	
	資本金 45億円	